

宮川水系河川整備計画（原案）・整備メニュー（案）

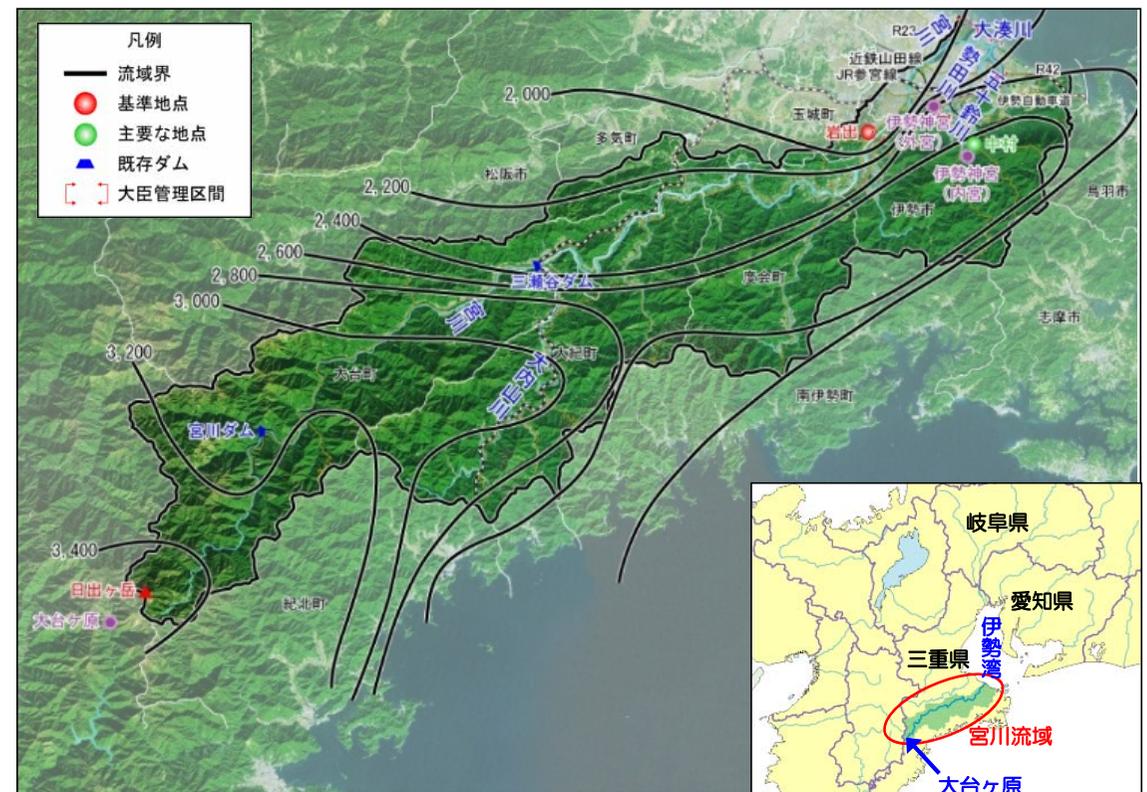
国土交通省 中部地方整備局 三重河川国道事務所

宮川流域の概要

宮川は三重県の南部に位置し、その源を三重県多気郡大台町と奈良県吉野郡上北山村の県境に位置する日出ヶ岳（標高 1,695m）に発し、大内山川等の支川を合わせて伊勢平野に出て、河口付近で大湊川を分派し、その後、伊勢湾に注ぐ、幹川流路延長 91km、流域面積920km² の一級河川です。また、支川五十鈴川は、五十鈴川派川を分派し、河口付近で支川の勢田川・大湊川を合わせ、伊勢湾に注いでいます。

●宮川水系の諸元

流域面積	920km ²
幹川流路延長	91km
流域内人口	約14万人
想定はん濫区域面積	約70km ²
想定はん濫区域内人口	約13万人
想定はん濫区域内資産額	約2.6兆円
主な市町村	伊勢市、玉城町等



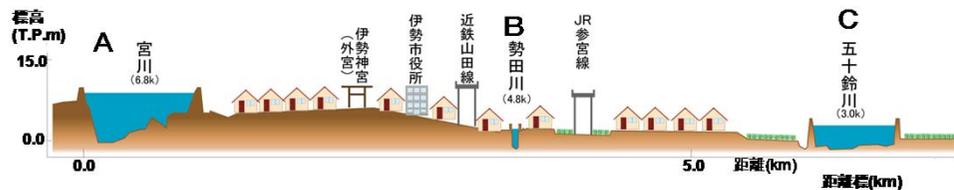
流域図及び年間降雨量分布図

宮川流域の概要

● 地形特性

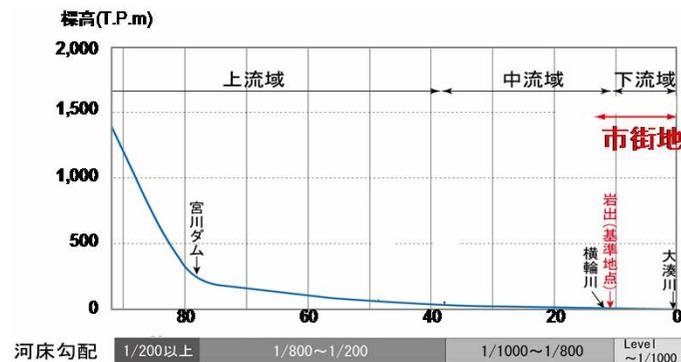
横断図

伊勢神宮を抱える伊勢市等の地盤高は計画高水位以下であり、ひとたびはん濫すると甚大な被害が発生します。



縦断図

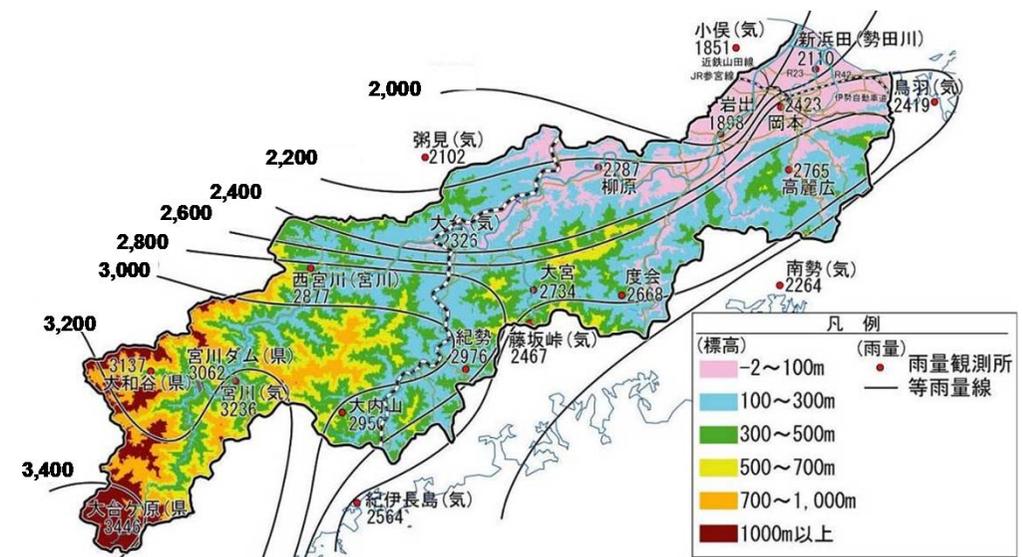
市街地が広がる河口部の河床勾配はレベルのため、洪水流が流下しにくい状況にあります。



● 降雨特性

平均年降水量は、上流山間部で約3,400mm以上、平野部で約2,000~2,500mm

日本屈指の多雨地帯である大台ヶ原を源流にもち、大正12年9月には日雨量1,000mm超を記録しました。



宮川流域の概要



昭和49年7月洪水
浸水状況（伊勢市駅前）



昭和57年8月洪水
溢水状況
（勢田川右岸5.8k付近）



平成16年9月洪水
堤内地浸水
（宮川右岸7.4k付近）



主要地方道伊勢南島線

大倉川

平成23年9月洪水
洪水における
浸水状況
（大倉川流末）

時代	年月	気象要因	被害状況
明治 ↳ 直轄迄	明治18年7月	—	昼田村(現玉城町)の堤防が切れ8戸20等が流出し19人の溺死者があり、田畑100余長歩が河原となった
	明治37年7月	—	暴風雨により日降水量135.7mmを記録、県下に大被害を与えた。宮川の出水量明治18年来の高点に達した。宮川橋、舟木橋、馬瀬橋等の橋が流出
	昭和13年8月	低気圧	宮川下流部の堤防決壊により、城田村、御菌村、宇治山田市において浸水が発生
	昭和34年9月	伊勢湾台風	高潮により海岸堤防が被災し、伊勢市の人家等の被害が激しく、被災者は約9万人
	昭和49年7月	台風8号	被災家屋数14,149戸、浸水面積3,051ha
近年 (直轄以降)	昭和57年8月	台風10号	被災家屋数2,527戸、浸水面積974ha
	平成2年9月	台風19号	被災家屋数76戸、浸水面積0.5ha
	平成6年9月	台風26号	被災家屋数62戸、浸水面積105ha
	平成16年9月	台風21号	被災家屋数303戸、浸水面積174ha
	平成23年9月	台風12号	被災家屋数196戸、浸水面積316ha

河川整備計画の策定内容（河川法の改正）

- 平成9年の河川法改正により、従来の「治水」「利水」の目的に加え、「河川環境の整備と保全」を追加、さらには計画策定プロセスに関係住民、地方公共団体の長、学識経験者の意見を反映させる手続きを導入しました。
- 治水計画については、長期的目標である「河川整備基本方針」と概ね20～30年間の具体的な河川整備に関する事項を定める「河川整備計画」に区分して策定することとなりました。

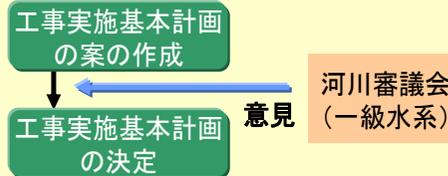
河川法改正



旧制度

工事実施基本計画

内容 ⇒ 基本方針、基本高水、計画高水流量等
主な河川工事(ダムも含む)の内容



河川工事

新制度

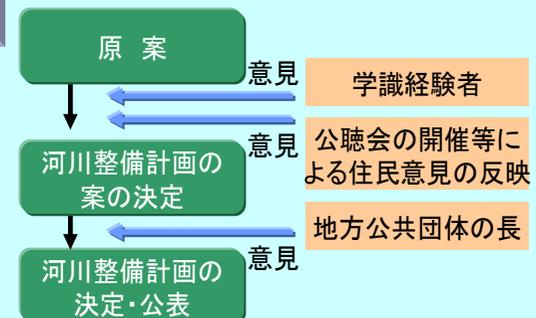
河川整備基本方針

内容 ⇒ 基本方針
基本高水、計画高水流量等



河川整備計画

内容 ⇒ 河川整備の目標
河川工事(ダムも含む)、河川の維持の内容



河川工事、河川の維持

河川整備計画の策定内容（河川整備基本方針、河川整備計画とは）

■河川整備の長期的な基本方針を「河川整備基本方針」として策定したうえで、「河川整備基本方針」に沿って、概ね20～30年間の具体的な河川整備に関する事項を定める「河川整備計画」を策定します。

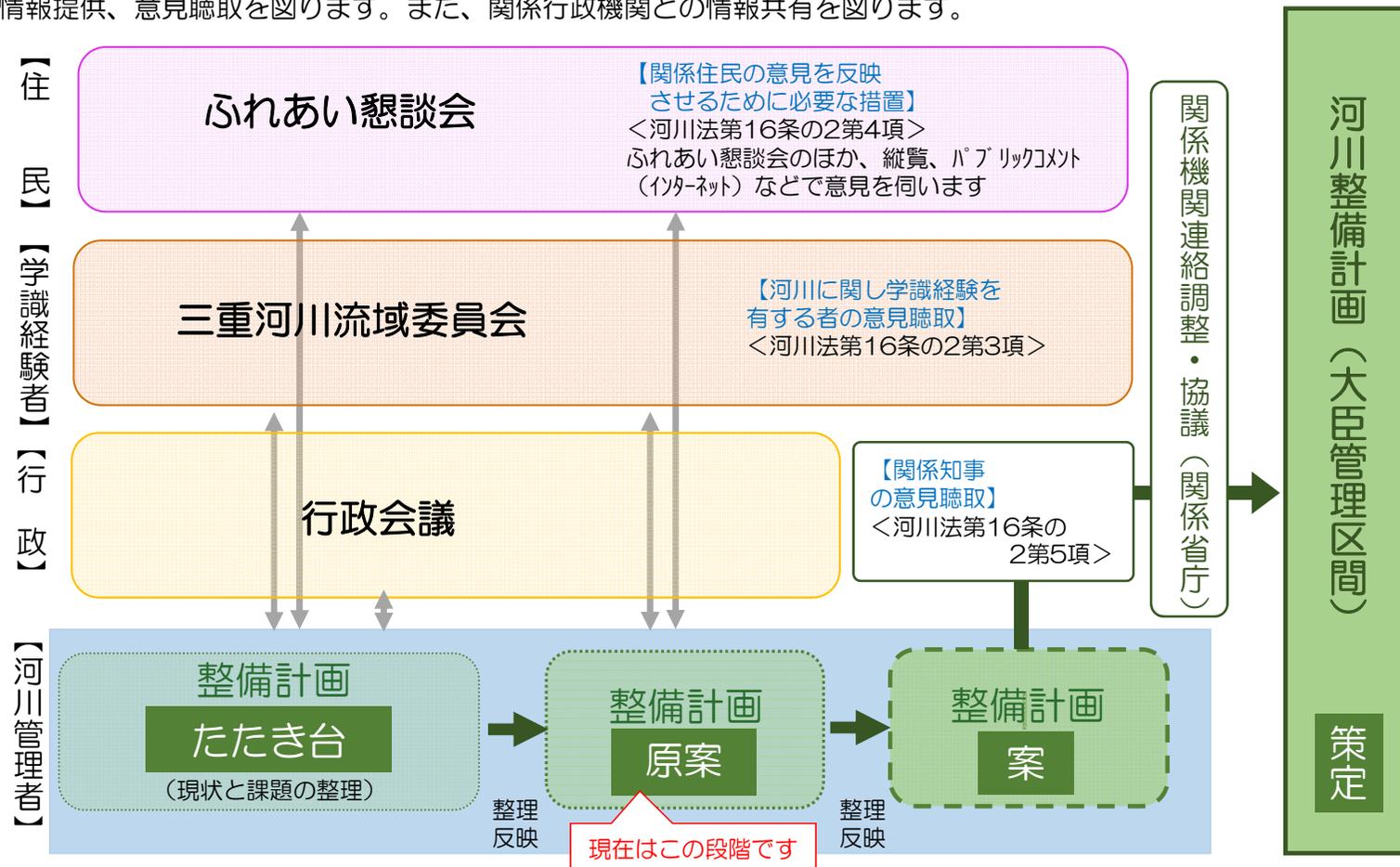
	河川整備基本方針	河川整備計画
内 容	河川の整備を行うにあたっての長期的な基本方針、河川の整備の基本となる事項	河川整備基本方針に沿って、計画的に河川の整備を実施すべき区間について、当該河川の整備に関する具体的な計画
記載事項	<p>○河川の総合的な保全と利用に関する基本方針</p> <p>○河川の整備の基本となるべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本高水並びにその河道及び洪水調節施設への配分 ・主要な地点における計画高水流量 ・主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る川幅 ・主要な地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量 	<p>○河川整備計画の目標に関する事項</p> <p>○河川の整備の実施に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要 ・河川の維持の目的、種類及び施行の場所

河川整備計画の策定内容（進め方）

宮川水系河川整備計画は、現在、ふれあい懇談会、縦覧及びパブリックコメント（インターネット）（H27.5.1~31実施）を通して、地域の皆さんの声を伺っている段階です。

宮川の河川整備計画（大臣管理区間）策定の進め方【概念的フロー図】

河川管理者（三重河川国道事務所）は、整備計画を策定するまでに、各段階で住民・学識経験者に必要な情報提供、意見聴取を図ります。また、関係行政機関との情報共有を図ります。



河川整備計画の策定内容（進め方）

宮川水系河川整備計画策定に係る「関係住民の意見を反映させるための必要な措置」の一環として、平成21年7月25日に、「宮川ふれあい懇談会」を開催しました。

○治水に関する主な意見

- ・治水と環境の両立した整備が必要である。
- ・洪水がスムーズに流れる川として欲しい。
- ・JR勢田川橋付近の河川整備をして欲しい。
- ・宮川の河床を掘削して洪水が流下できるようにして欲しい。
- ・昼田地区の堤防整備を進めて欲しい。

○環境に関する主な意見

- ・市民が親しめる川として欲しい。
- ・宮川下流部も生物が多く確認できるような川にして欲しい。
- ・勢田川の環境について、昔の環境を取り戻したい。
- ・宮川河口域で環境調査を実施して、環境の変化を把握して欲しい。
- ・親水公園の水路について、生物が住みやすくなるよう改善して欲しい。
- ・工事に当たっては、研究者との情報交換が必要である。
- ・宮川橋付近に遊歩道等を整備して欲しい。
- ・宮川や勢田川へのサイクリングロードの整備など、住民が親しめる川づくりをして欲しい。
- ・勢田川の水質を改善して欲しい。

○その他の主な意見

- ・話し合いの機会を多く設けて欲しい。
- ・1人1人の川を美しくしようという心がまえが、大きい運動になるのではないかと。
- ・勢田川にゴミを捨てる人がいるため、沿川の住民の意識改革が必要である。
- ・川に対するアンケートを取れば、いろいろな意見が得られると思われる。
- ・住民と一体となって、無理なく長く続けられる取り組みを進めて欲しい。

開催場所	開催日時	参加人数
伊勢市ハートプラザみその 伊勢市御園町長屋2767 TEL. 0596-22-6617	平成21年7月25日(土) 13:00~14:40 現地見学会 14:55~16:00 懇談会	現地見学会 14名 懇談会 14名



現地見学会の様子



懇談会の様子

河川整備計画の策定内容（整備の目標とする流量）

- 宮川の整備目標流量は、H16.9洪水相当（岩出地点：7,800m³/s）とします
- 勢田川の整備目標流量は、S57.8洪水相当（神社地点：230m³/s）とします

項目	河川整備基本方針（H19.11.22策定）	河川整備計画（案）
計画規模	<ul style="list-style-type: none"> ◆宮川 岩出地点：1/100（計画降雨量：381mm/12時間） ◆五十鈴川 中村地点：1/50（計画降雨量：292mm/6時間） ◆勢田川 神社地点：S49.7洪水（実績雨量：178mm/3時間） 	<ul style="list-style-type: none"> ◆宮川 岩出地点流量：概ね1/50（7,800m³/s） ◆五十鈴川 中村地点流量：概ね1/50（740m³/s） ◆勢田川 神社地点：概ね1/20（230m³/s）
基本高水ピーク流量	<p>宮川：岩出地点 8,400m³/s</p> <p>五十鈴川：中村地点 740m³/s</p> <p>勢田川：神社地点 280m³/s</p>	<p>宮川：岩出地点 7,800m³/s</p> <p>五十鈴川：中村地点 740m³/s</p> <p>勢田川：神社地点 230m³/s</p>
洪水調節量	岩出地点 800m ³ /s	岩出地点 500m ³ /s
計画高水流量 (河道整備流量)	<p>宮川：岩出地点 7,600m³/s</p> <p>五十鈴川：中村地点 740m³/s</p> <p>勢田川：神社地点 280m³/s</p>	<p>宮川：岩出地点 7,300m³/s</p> <p>五十鈴川：中村地点 740m³/s</p> <p>勢田川：神社地点 230m³/s</p>

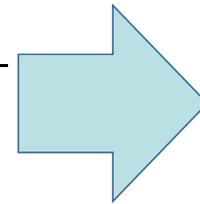
治水

洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減

目標

対応案

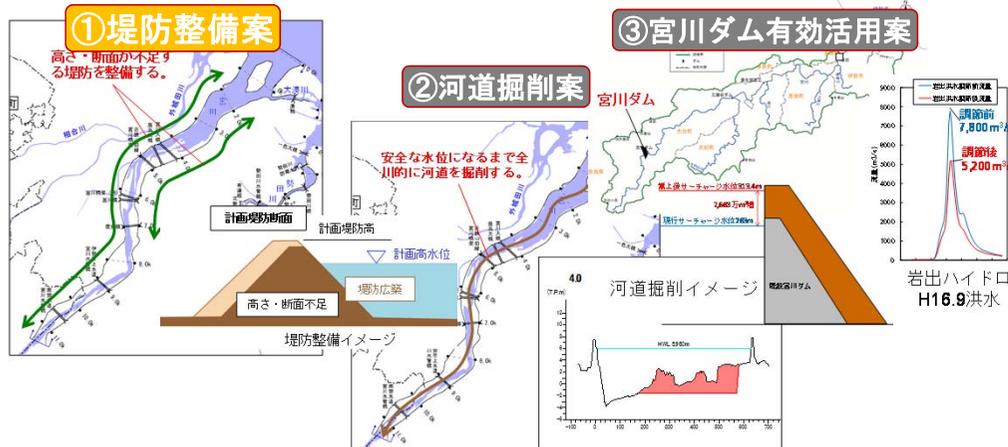
●宮川は平成16年9月洪水（戦後2番目）と同規模の洪水に対して、
勢田川は昭和57年8月洪水（戦後2番目）と同規模の洪水に対して、
 洪水はん濫による災害の発生防止又は軽減を図ります。



- 宮川については、堤防整備を行っていきます。
- 勢田川については、河道掘削と横断工作物の改築等を行っていきます。

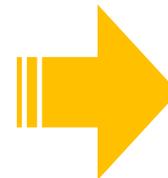
1次選定

考えられる複数案について実現性やコストの観点から、有力案を選定（宮川：3案、勢田川：5案）



2次選定

治水対策案として各案を比較した結果、実現性が高く、コストの安い案として、宮川では「堤防整備案」を、勢田川では「河道掘削案」を採用



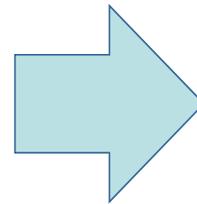
治水

洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減

目標

●高潮対策

昭和34年9月に発生した伊勢湾台風と同規模の台風が再来しても、高潮による災害の発生を防止を図ります。

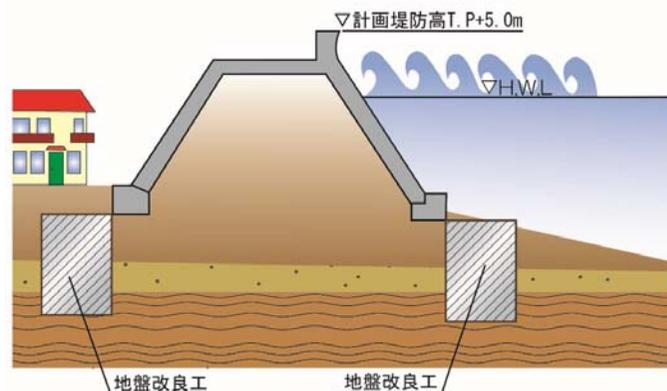


実施(案)

●高潮に対する安全性の強化を図るとともに地震対策を推進します。

高潮対策イメージ例

伊勢湾台風が満潮時に再来した場合においても被害を防止するため、高潮区間において地震対策を推進します。



宮川左岸（1.4k付近）



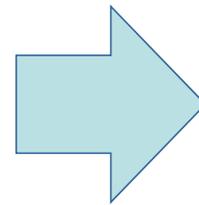
治水

洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減

目標

●危機管理対策

計画規模を上回る洪水や高潮が発生した場合、整備途上において施設能力以上の洪水や高潮が発生した場合、さらに大規模地震による津波とともに大規模地震直後に洪水や高潮に見舞われた場合に、その被害をできるだけ軽減できるように、危機管理対策を実施します。



実施(案)

- 既施設設を活用しながら、ソフト・ハード一体となった総合的な被害軽減対策を、自助・共助・公助の精神のもと関係機関や地域住民等と連携して推進します。
- 克災の理念のもと、迅速な復旧までを想定した危機管理対策を進めます。

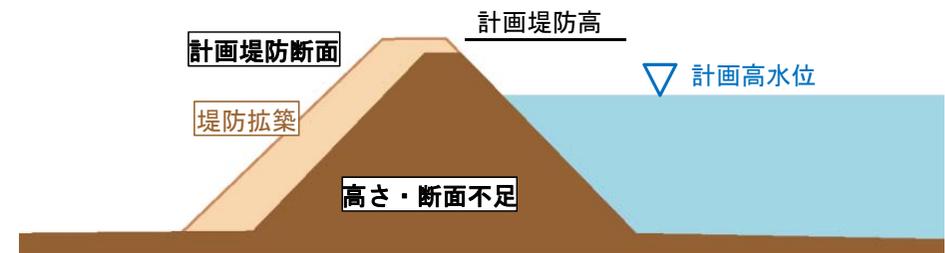
- 河川防災拠点等の整備
- 広域防災ネットワークの構築
- 情報伝達体制の充実
- 河川情報システムの整備

整備計画メニュー 治水

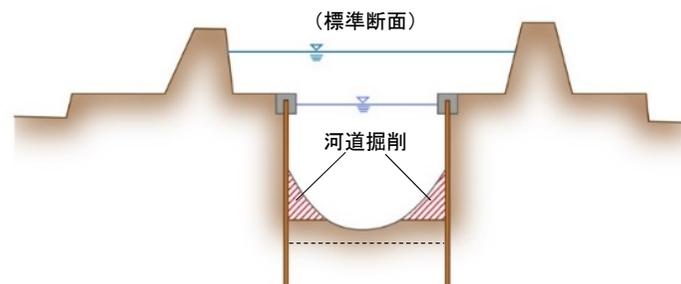
1. 洪水（外水はん濫）対策

- 堤防の整備
- 河道掘削
- 横断工作物の改築等

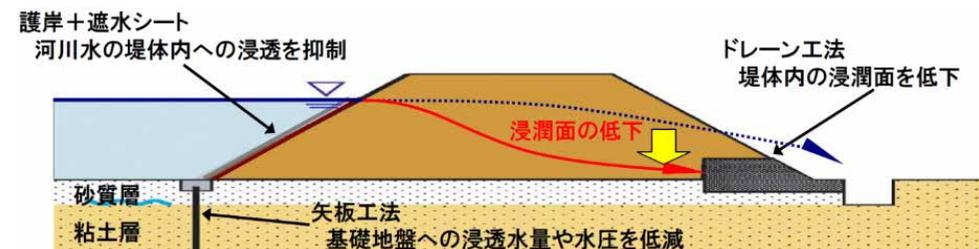
堤防整備イメージ（計画堤防断面）



河道掘削イメージ（勢田川治水対策）



堤防整備イメージ（浸透対策）



整備計画メニュー 治水

2.内水対策

3.高潮対策

- 堤防の整備

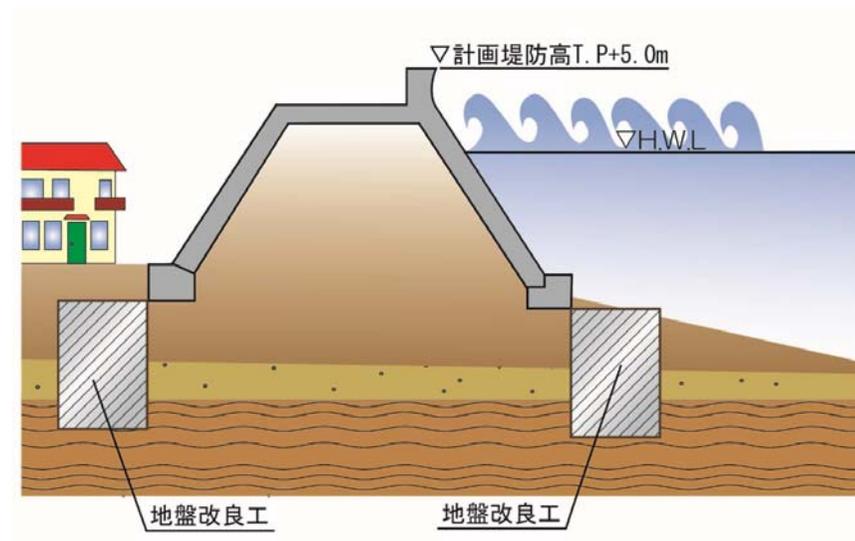
4.津波対策

- 堤防等の耐震対策

5.危機管理対策

- 河川防災拠点等の整備
- 広域防災ネットワークの構築
- 情報伝達体制の充実
- 河川情報システムの整備

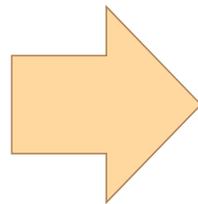
地盤改良イメージ（地震対策）



利水 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

目 標

● 水利用実態を考慮し、景観や動植物の生息・生育環境等の保全に努め、水利権の適正な見直し等により、河川の適正な利用を図るとともに、関係機関と調整・連携して、合理的な水利用の推進や既存施設の有効活用に向けた検討を進めます。これにより、流水の正常な機能を維持するために必要な流量の一部を回復するように努めます。



実施(案)

- 水利秩序に配慮しつつ、用途間をまたがる水の転用として宮川ダム洪水調節容量の一部を用いた不特定補給等の合理的な水利用について関係機関と調整・連携して促進を図る。
- また、既存施設の弾力的な運用について、関係機関と調整・協議して検討を進める。これにより、流水の正常な機能を維持するために必要な流量の一部を回復するように努める。

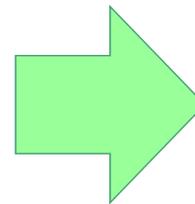
環境 河川環境の整備と保全

目 標

- (1) 多様な動植物の生息・生育・繁殖環境の保全・再生
- 多様な動植物の生息・生育・繁殖環境について、経過監視により環境の変化を把握し、その保全を図ります。

実施(案)

- 河川が本来有する生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する「多自然川づくり」を推進します。
- 地域住民等と連携して、良好な河川環境の維持・保全・創出に努めます。



干潟



塩性湿地



シロチドリ



砂礫河原

河畔林
(ムクノキーエノキ群集)

環境 河川環境の整備と保全

目 標

(2) 良好な水質の保全

- 良好な河川水質の維持のために、関係機関との連携・調整を図るとともに、経過監視等による水質の保全を図ります。
- 水生生物調査等の活動を通じて、地域住民への水質についての啓発を行います。
- 勢田川については、下水道等の関係機関と連携しながら、勢田川の水質に対する啓発を行い、地域の理解・協力をもって連携を図りながら水質浄化の取り組みを実施し、さらなる水質改善を目指します。

実施(案)

- 関係機関との連携・調整を図るとともに、地域一体となった取り組みにより、良好な水質の保全を図ります。
- 勢田川については、浄化導水事業を継続するとともに、下水道整備事業とも連携して、汚濁負荷量の削減に努めます。

環境 河川環境の整備と保全

目 標

(3) 良好な景観の維持・形成

- 豊かな流れに起因する大きな蛇行や、アユ産卵場として機能する瀬・淵、渡り鳥の中継地となる河口部の干潟等、既存の良好な景観について治水との整合を図りながら維持・形成を図ります。
- 宮川堤においては、堤防整備の影響を最小限にし、桜並木の保全を図ります。

実施(案)

- 宮川を特徴づける河川景観の保全に努めるとともに、水辺の景観の維持・形成に努めます。
- 宮川桜づつみなどの良好な景観の保全を図るとともに、良好な景観の維持・創出に努めます。

環境 河川環境の整備と保全

目 標

(4) 人と河川の豊かなふれあいの場の確保

- 宮川堤などの憩いの場や交流の場として利用される親水施設を通じて、地域住民との連携を図り、河川や水辺の整備・利活用計画による、良好なまちと水辺が融合した空間形成の円滑な推進を図ります。
- 伊勢神宮との深い関わりのある川として、その歴史や文化にまつわる空間の保全を図ります。
- 勢田川等においては、現在進められている河川や水辺の整備・利活用計画による、良好なまちと水辺が融合した空間形成の円滑な推進を図ります。

実施(案)

- 子供たちが環境学習の場として利用できるような水辺の楽校の整備を行います。
- 地域づくりのためのフォローアップを積極的に支援します。
- 勢田川については、良好なかわまちづくりを推進し、歴史的な街並みと一体となった魅力ある良好な景観の維持・創出に努めます。

整備計画メニュー 環境

1. 多自然川づくりの推進
2. 良好な水質の保全
3. 良好な自然環境の保全・再生
4. 人と河川の豊かなふれあいの場の整備

- 河川利用の推進
- 良好な景観の維持・形成

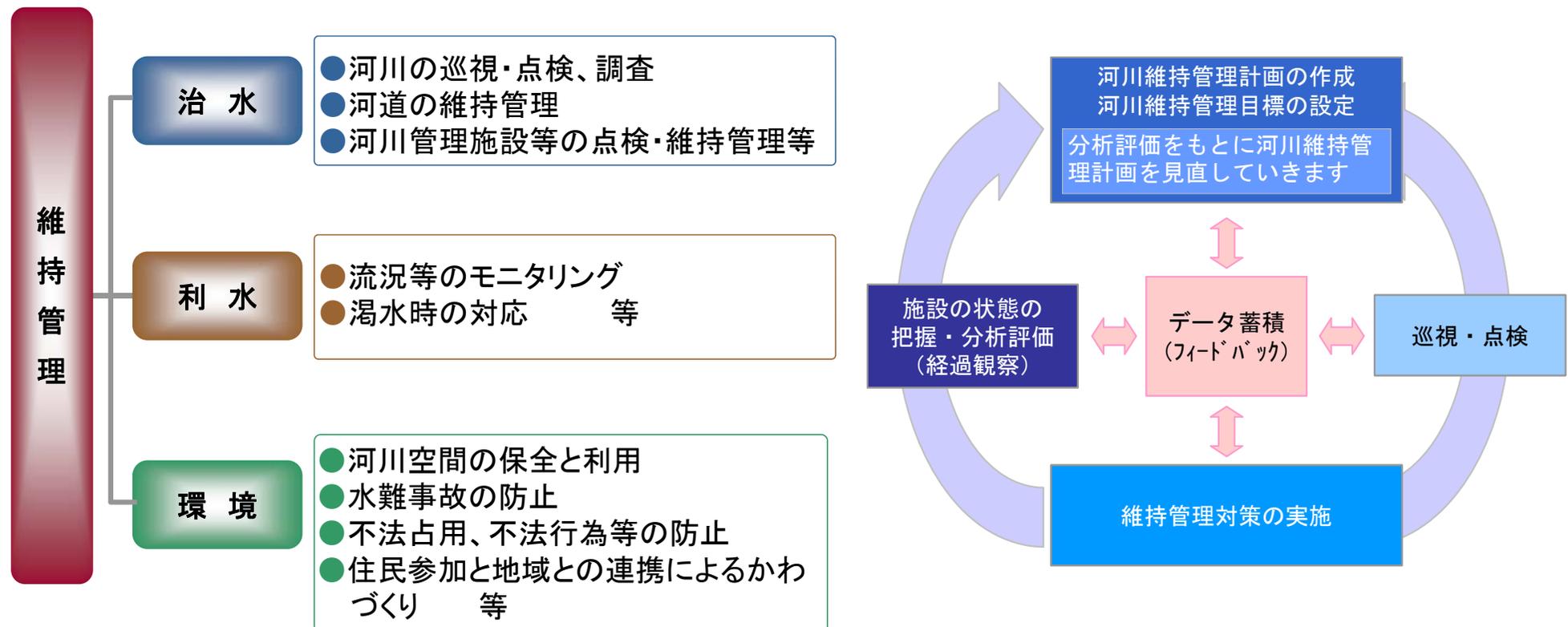


維持管理

考え方

宮川の河川特性を踏まえた河川維持管理計画を作成し、河川の状況を監視・点検によって分析評価することで、適切な維持管理に努めます。

サイクル型維持管理のイメージ



整備計画メニュー 維持管理

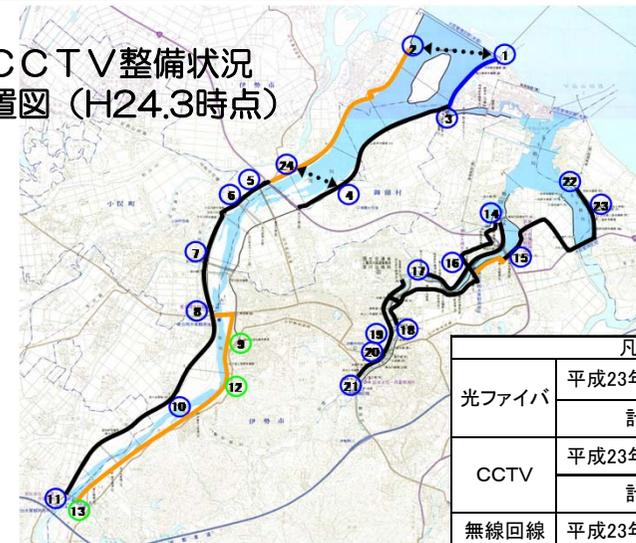
1. 水文・水理調査
2. 河川の測量・調査
3. 河道の維持管理
4. 堤防の維持管理
5. 水門等施設の維持管理
6. 水門等施設の老朽化対策
7. 許可工作物の適正な維持管理
8. 不法行為に対する監督・指導
9. 出水時等の危機管理対策
10. 水防に関する連携・支援
11. 地震及び津波発生時の対応

勢田川防潮水門と
勢田川排水機場(S55)



JR参宮線宮川橋梁(M30)

光ケーブル、CCTV整備状況
及び観測所位置図 (H24.3時点)



勢田川七夕大掃除

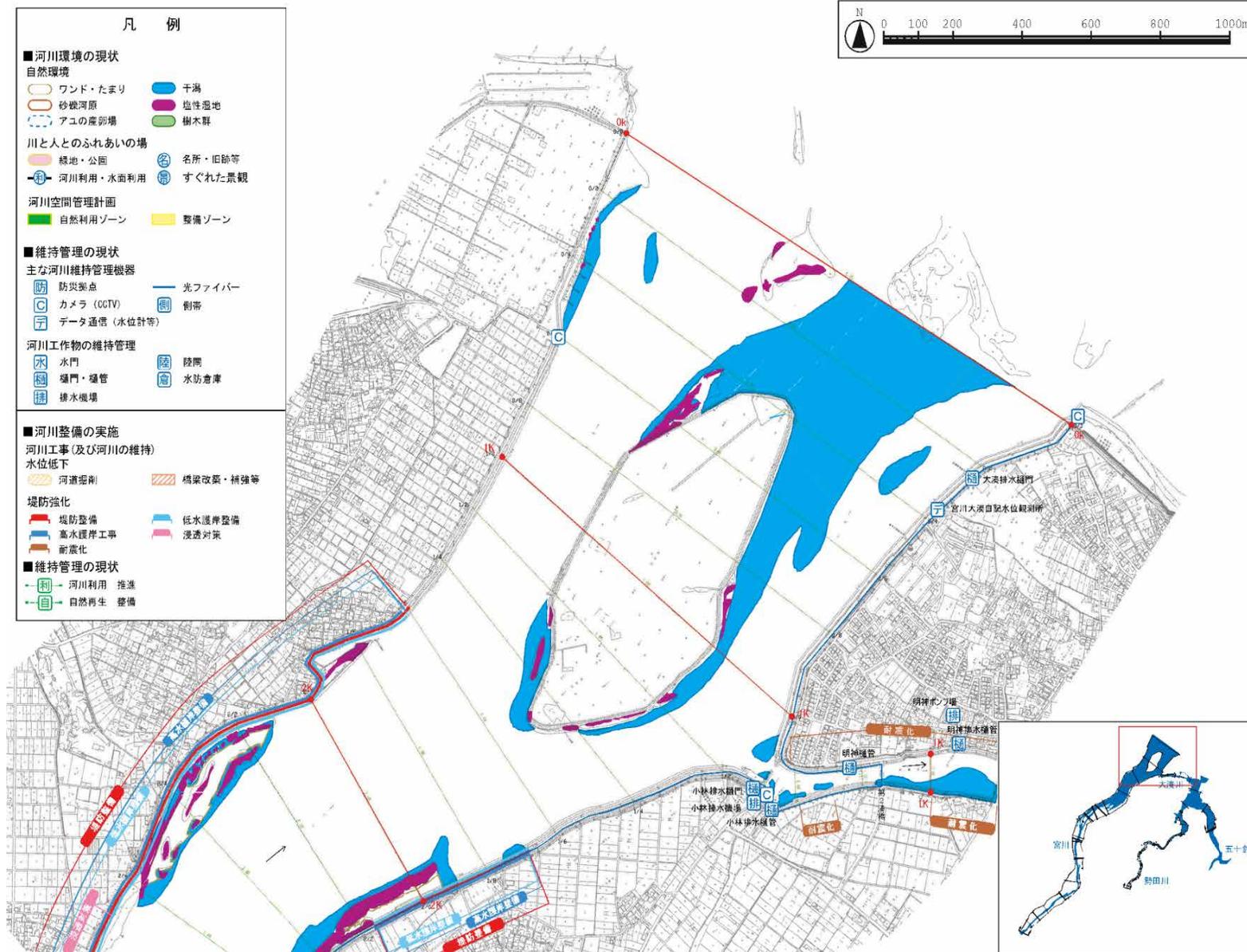
An aerial photograph of a wide river system. A large dam is visible on the left side, with a reservoir extending upstream. The river flows through a landscape of agricultural fields and some urban areas. The water is a deep blue-green color. The text is overlaid on a semi-transparent green rectangular box in the center of the image.

整備メニュー(案)の概要 (宮川：河口～上流端)

整備箇所（河道内の整備メニュー）

- 洪水(河道整備流量)や高潮、地震による家屋浸水被害を防止するための堤防整備・護岸整備を実施
- 河道内については定期的に状況を点検し、必要に応じ河道維持を実施

宮川



整備箇所（河道内の整備メニュー）

宮川水系河川整備計画の策定に向けて

宮川

凡 例

■河川環境の現状

自然環境

- ワンド・たまり
- 砂礫河原
- アユの産卵場
- 干潟
- 塩性湿地
- 樹木群

川と人とのふれあいの場

- 緑地・公園
- 名所・旧跡等
- 河川利用・水面利用
- すぐれた景観

河川空間管理計画

- 自然利用ゾーン
- 整備ゾーン

■維持管理の現状

主な河川維持管理機器

- 防 防災拠点
- C カメラ (CCTV)
- ア データ通信 (水位計等)
- 光ファイバー
- 側帯

河川工作物の維持管理

- 水 水門
- 橋 橋門・橋管
- 排 排水機場
- 陸 陸閘
- 水 水防倉庫

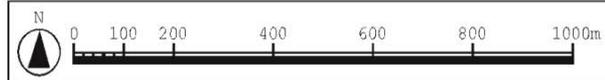
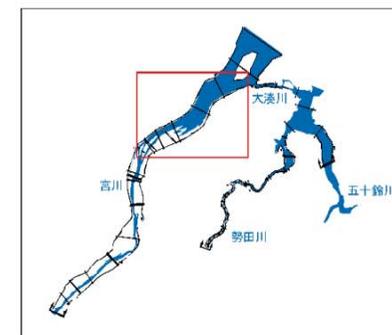
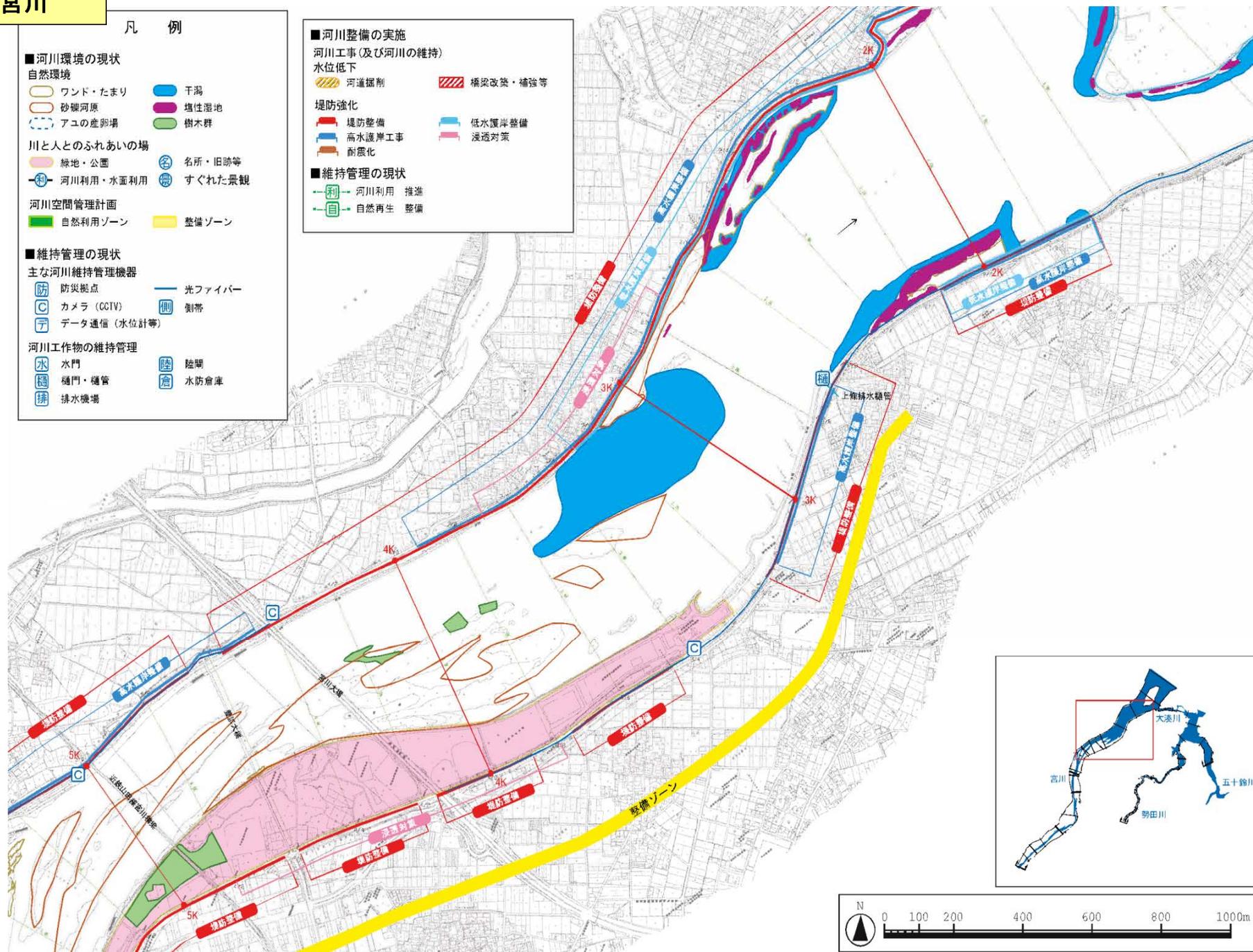
■河川整備の実施

河川工事 (及び河川の維持)

- 水位低下
- 河道掘削
- 橋梁改築・補強等
- 堤防強化
- 堤防整備
- 高水護岸工事
- 耐震化
- 低水護岸整備
- 浸透対策

■維持管理の現状

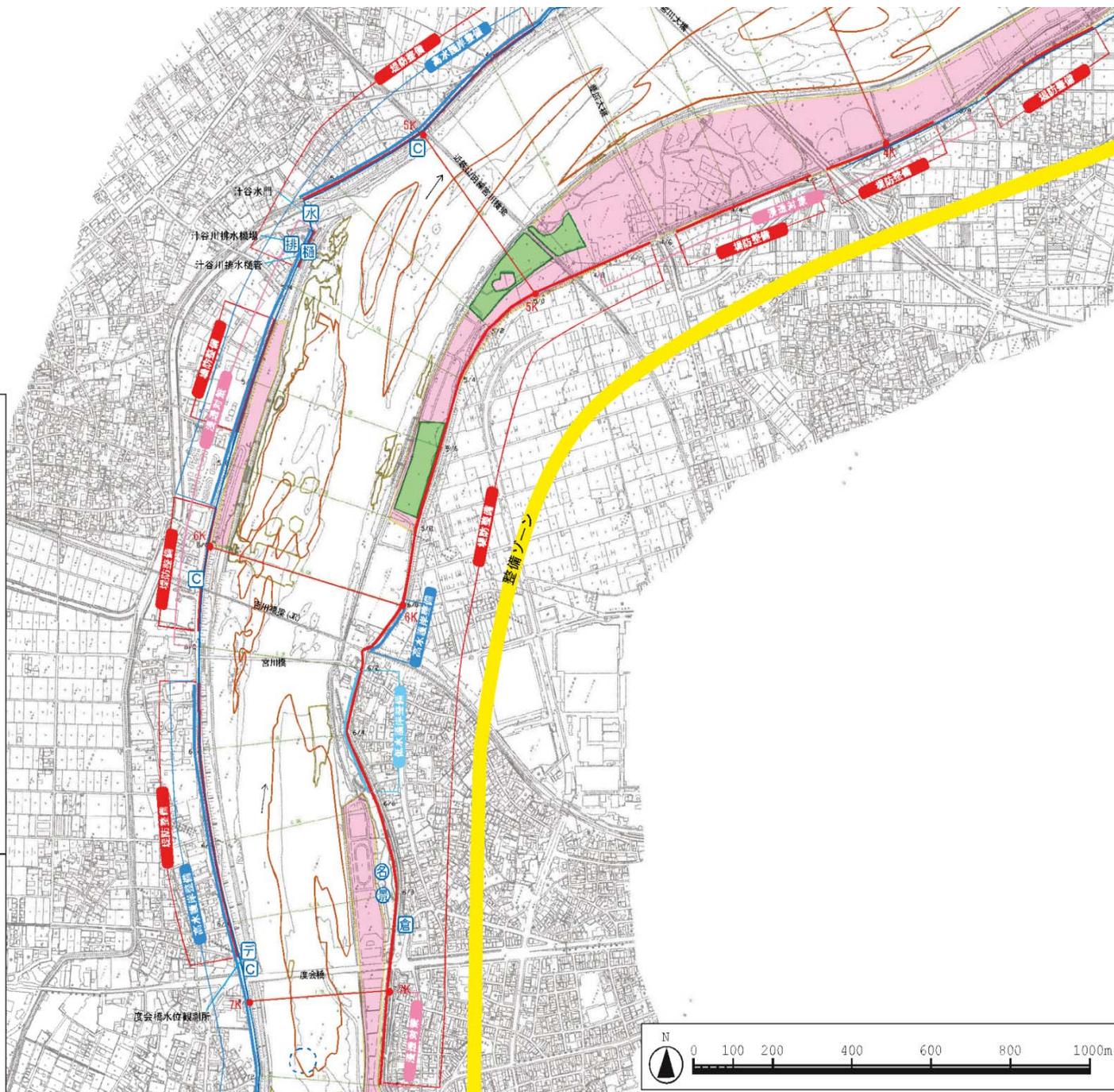
- 利 河川利用 推進
- 目 自然再生 整備



整備箇所（河道内の整備メニュー）

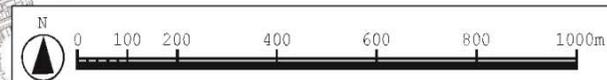
宮川水系河川整備計画の策定に向けて

宮川



凡例

- 河川環境の現状
 - 自然環境
 - ワンド・たまり
 - 砂礫河原
 - アユの産卵場
 - 干潟
 - 塩性湿地
 - 樹木群
 - 川と人とのふれあいの場
 - 緑地・公園
 - 河川利用・水面利用
 - 名所・旧跡等
 - すぐれた景観
 - 河川空間管理計画
 - 自然利用ゾーン
 - 整備ゾーン
- 維持管理の現状
 - 主な河川維持管理機器
 - 防 防災拠点
 - C カメラ (CCTV)
 - 7 データ通信 (水位計等)
 - 光ファイバー
 - 側 割帯
 - 河川工作物の維持管理
 - 水 水門
 - 種 種門・種管
 - 排 排水機場
 - 陸 陸閘
 - 倉 水防倉庫
- 河川整備の実施
 - 河川工事 (及び河川の維持)
 - 水位低下
 - 河道掘削
 - 橋梁改築・補強等
 - 堤防強化
 - 堤防整備
 - 高水護岸工事
 - 耐震化
 - 低水護岸整備
 - 浸透対策
- 維持管理の現状
 - 河川利用 推進
 - 自然再生 整備



整備箇所（河道内の整備メニュー）

宮川水系河川整備計画の策定に向けて

宮川

凡 例

■河川環境の現状

自然環境

- ワンド・たまり
- 砂礫河原
- アユの産卵場
- 干潟
- 塩性湿地
- 樹木群

川と人のふれあいの場

- 緑地・公園
- 河川利用・水面利用
- 名所・旧跡等
- すぐれた景観

河川空間管理計画

- 自然利用ゾーン
- 整備ゾーン

■維持管理の現状

主な河川維持管理機器

- 防 防災拠点
- カ カメラ (CCTV)
- テ データ通信 (水位計等)
- 光 光ファイバー
- 側 側溝

河川工作物の維持管理

- 水 水門
- 樋 樋門・樋管
- 排 排水機場
- 陸 陸開
- 倉 水防倉庫

■河川整備の実施

河川工事 (及び河川の維持)

水位低下

- 河道掘削
- 橋梁改良・補強等

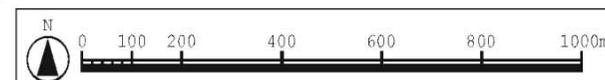
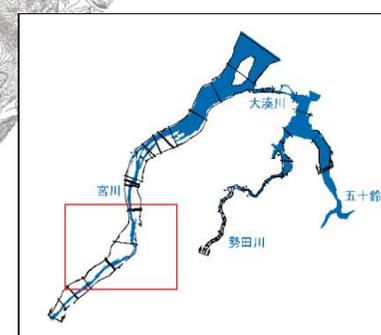
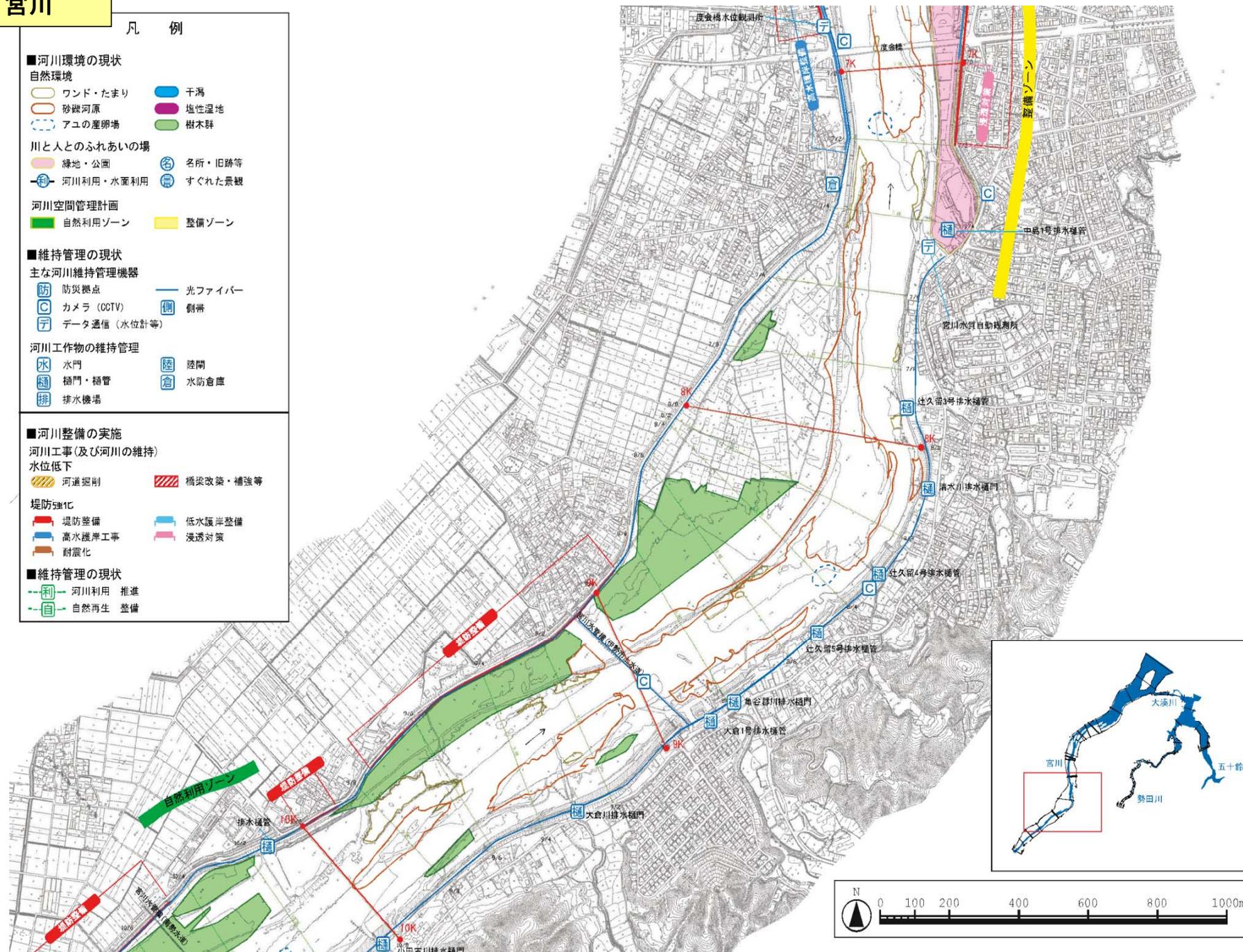
堤防強化

- 堤防整備
- 高水護岸工事
- 耐震化
- 低水護岸整備
- 浸透対策

■維持管理の現状

河川利用 推進

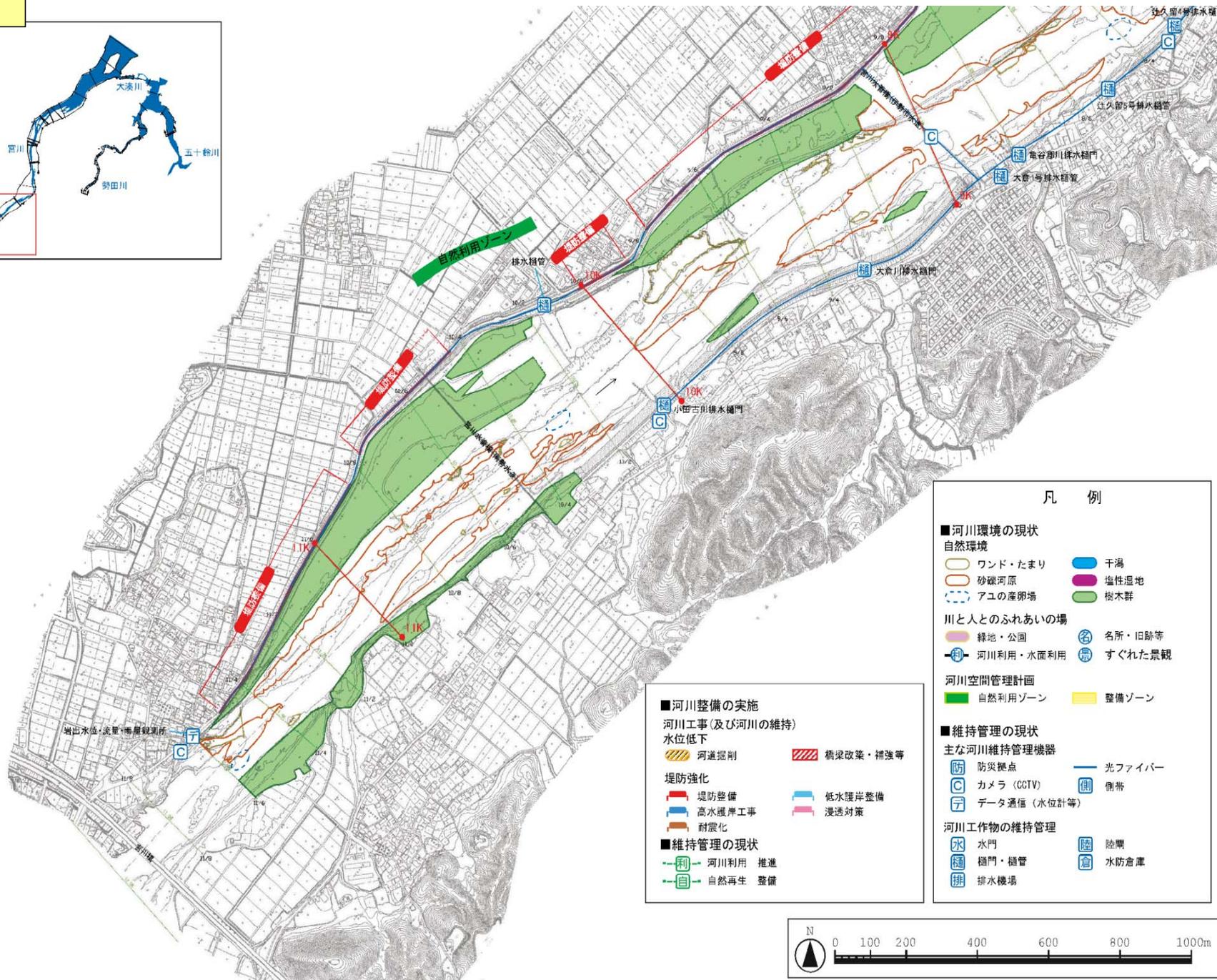
自然再生 整備



整備箇所（河道内の整備メニュー）

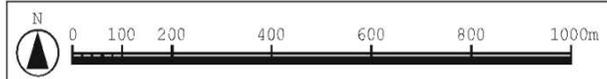
宮川水系河川整備計画の策定に向けて

宮川



凡 例	
■ 河川環境の現状	
自然環境	
ワンド・たまり	干潟
砂礫河原	塩性湿地
アユの産卵場	樹木群
川と人とのふれあいの場	
緑地・公園	名所・旧跡等
河川利用・水面利用	すぐれた景観
河川空間管理計画	
自然利用ゾーン	整備ゾーン
■ 維持管理の現状	
主な河川維持管理機器	
防 防災拠点	光ファイバー
C カメラ (CGTV)	側帯
データ通信 (水位計等)	
河川工作物の維持管理	
水 水門	陸橋
樋 樋門・樋管	水防倉庫
排 排水機場	

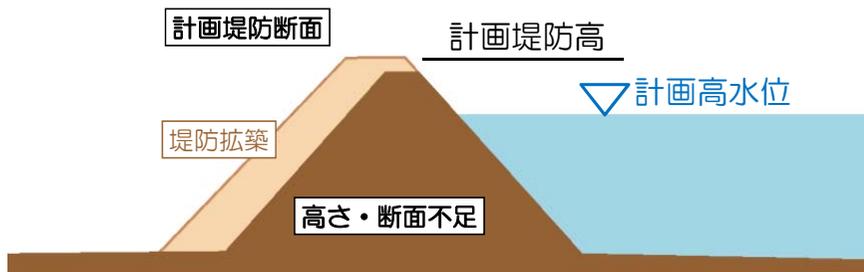
■ 河川整備の実施	
河川工事 (及び河川の維持)	
水位低下	
河道掘削	橋梁改築・補強等
堤防強化	
堤防整備	低水護岸整備
高水護岸工事	浸透対策
耐震化	
■ 維持管理の現状	
利 河川利用 推進	
自 自然再生 整備	



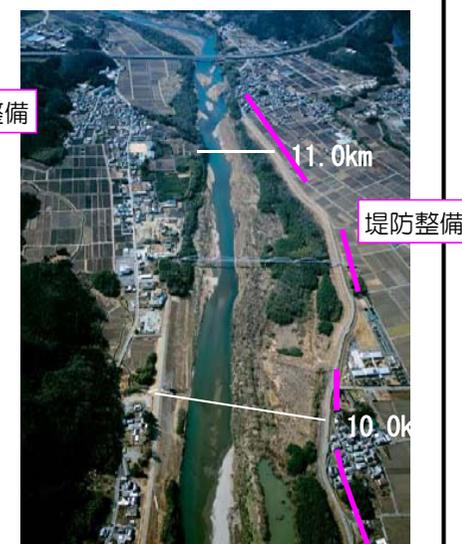
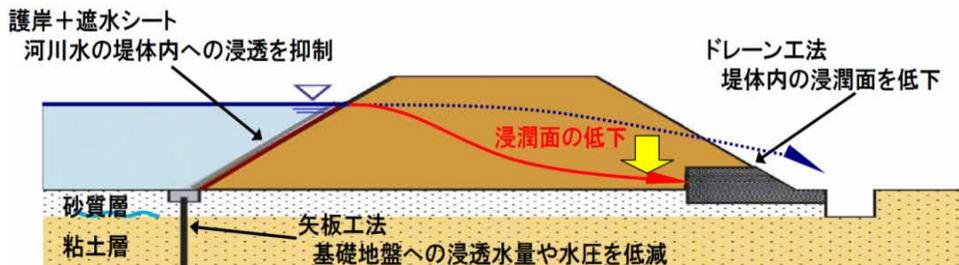
堤防整備

○堤防断面不足や基盤漏水・堤防のすべり破壊等により堤防の弱体が懸念される箇所での堤防整備（計画堤防断面及び浸透対策）を実施します。

堤防整備イメージ（計画堤防断面）



堤防整備イメージ（浸透対策）





整備メニュー(案)の概要
(勢田川)

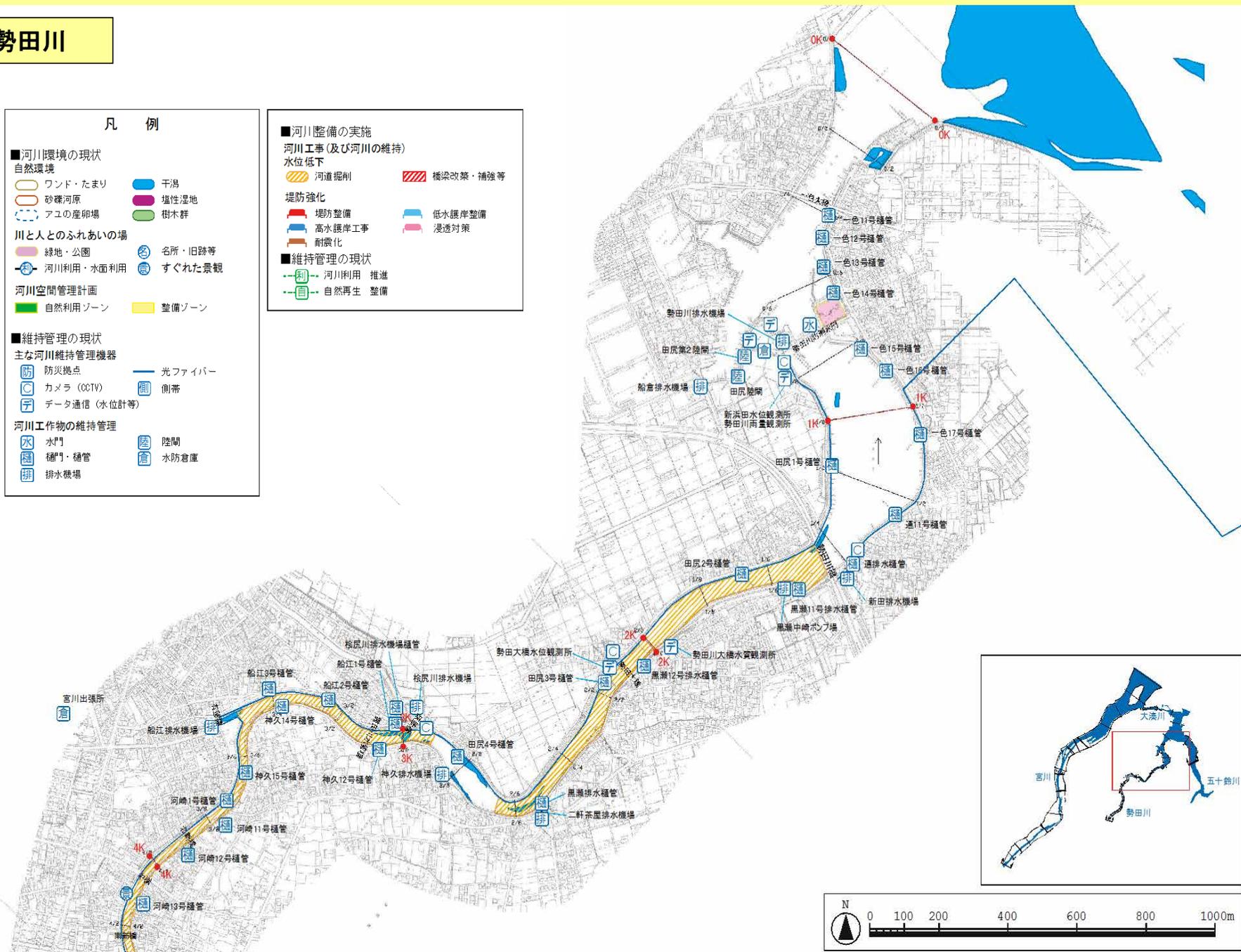
整備箇所（河道内の整備メニュー）

○洪水による家屋浸水被害を防止するため、主に河道掘削を実施

勢田川

- 凡 例
- 河川環境の現状
 - 自然環境
 - ワンド・たまり
 - 砂礫河原
 - アユの産卵場
 - 川と人とのふれあいの場
 - 緑地・公園
 - 河川利用・水面利用
 - 河川空間管理計画
 - 自然利用ゾーン
 - 整備ゾーン
 - 維持管理の現状
 - 主な河川維持管理機器
 - 防 防災地点
 - カ カメラ (CCTV)
 - テ データ通信 (水位計等)
 - 河川工作物の維持管理
 - 水 水門
 - 橋 橋門・補管
 - 排水機場

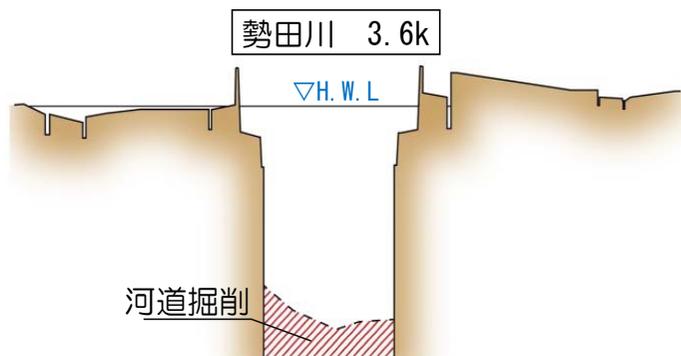
- 河川整備の実施
 - 河川工事(及び河川の維持)
 - 水位低下
 - 河道掘削
 - 橋梁改築・補強等
 - 堤防強化
 - 堤防整備
 - 高水護岸工事
 - 耐震化
 - 維持管理の現状
 - 河川利用 推進
 - 自然再生 整備
- その他
 - 干潟
 - 塩性湿地
 - 樹木群
 - 名所・旧跡等
 - すぐれた景観
 - 低水護岸整備
 - 浸透対策



河道内整備メニューの概要

河道掘削

○整備計画流量が流下した場合、家屋浸水を発生させないように河道掘削を実施します。



内水対策

○家屋浸水被害を防止するため、河道整備により害水位の低下を図るとともに、必要な排水ポンプの整備を実施します。

	ポンプ規模	備考
暫定計画[1/5]	11.5m ³ /s	H19完成
全体計画[1/10]	19.5m ³ /s	

桧尻川排水機場



三重県・伊勢市の桧尻川暫定河道改修（1/5確率規模）に対応するポンプがH19年に完成しており、整備計画期間内において、全体計画（1/10確率規模）に対応する河道改修が完了する予定（H40年度完了予定）であることから、1/10対応のポンプ規模19.5m³/sまで増強する必要がある。



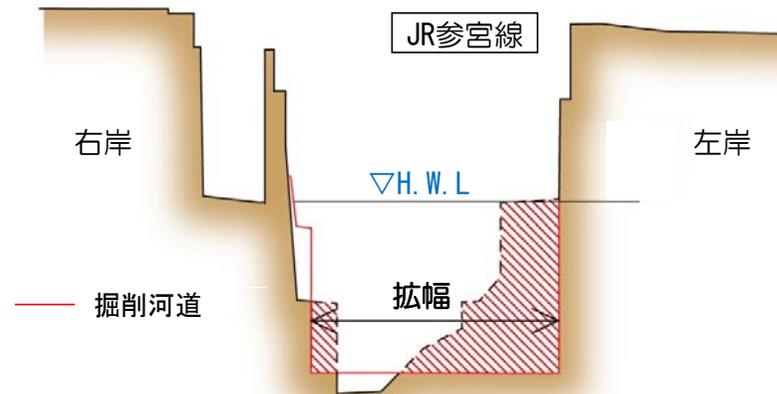
さんぐう

○ネックとなっているJR参宮線橋梁断面については、架け替えない範囲で拡幅し、左岸側の盛土部に現在の通路の代替として、管理用通路の機能を確保する



勢田川 4.6k付近

下図は整備のイメージです





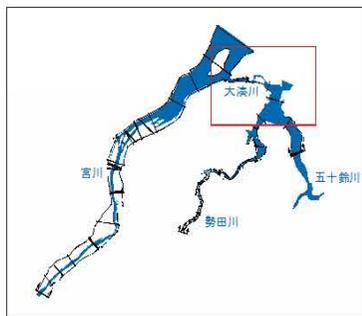
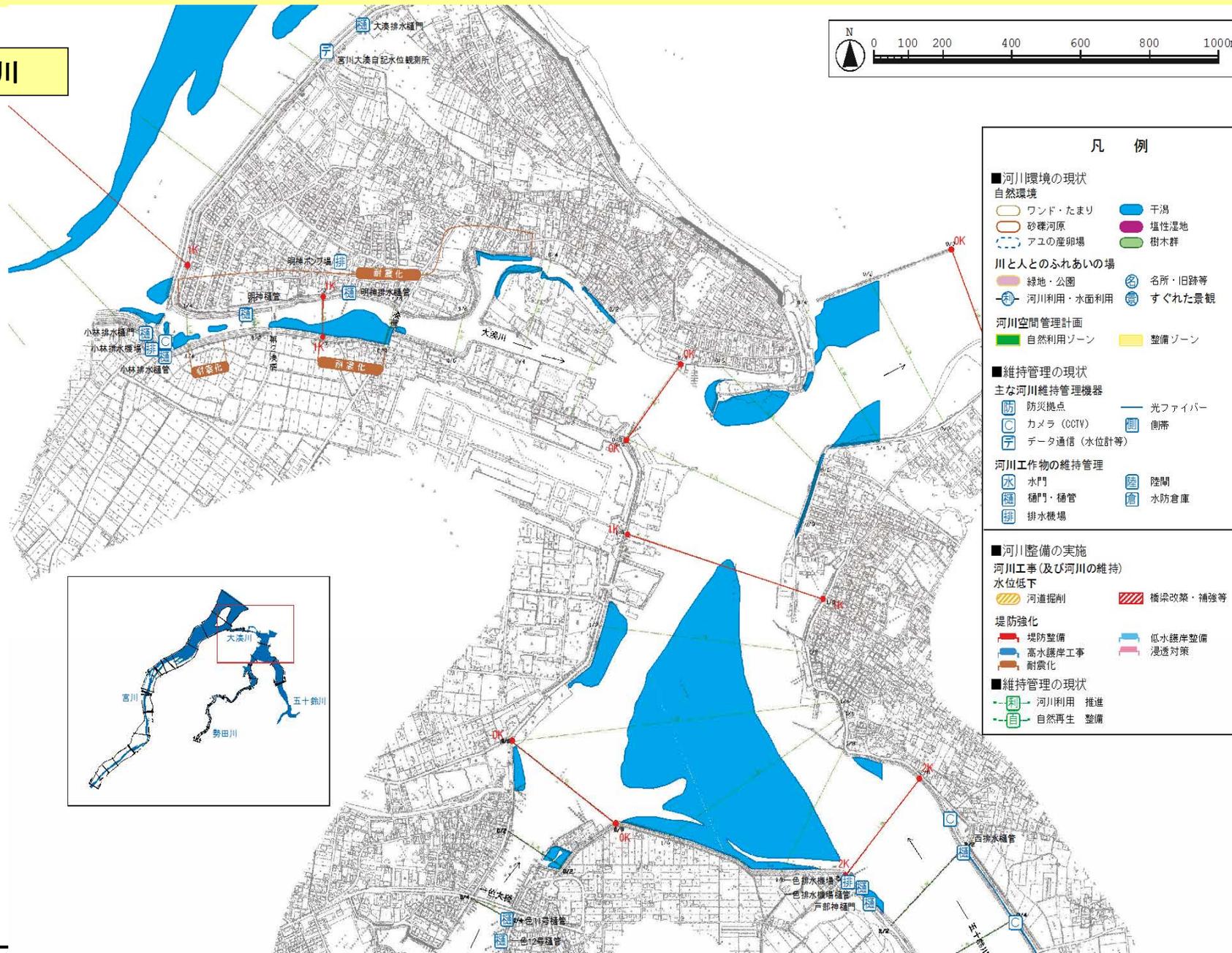
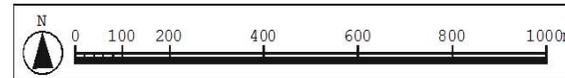
整備メニュー(案)の概要 (大湊川)

整備箇所（河道内の整備メニュー）

宮川水系河川整備計画の策定に向けて

○最大級の強さを持つ地震動が発生した場合においても河川管理施設の必要な機能を確保するため、主に地盤改良を実施

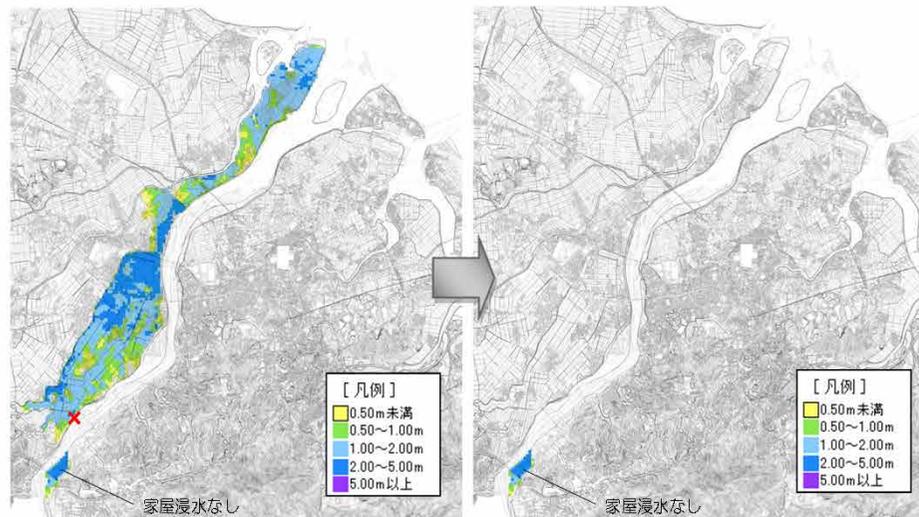
大湊川



- ### 凡例
- 河川環境の現状**
 - 自然環境
 - ワンド・たまり
 - 砂礫河原
 - アユの産卵場
 - 干潟
 - 塩性湿地
 - 樹木群
 - 川と人とのふれあいの場
 - 緑地・公園
 - 河川利用・水面利用
 - 名所・旧跡等
 - すぐれた景観
 - 河川空間管理計画
 - 自然利用ゾーン
 - 整備ゾーン
 - 維持管理の現状**
 - 主な河川維持管理機器
 - 防災拠点
 - カメラ (CCTV)
 - データ通信 (水位計等)
 - 光ファイバー
 - 側帯
 - 河川工作物の維持管理
 - 水門
 - 樋門・樋管
 - 排水機場
 - 陸間
 - 水防倉庫
 - 河川整備の実施**
 - 河川工事 (及び河川の維持)
 - 水位低下
 - 河道掘削
 - 橋梁改築・補強等
 - 堤防強化
 - 堤防整備
 - 高水護岸工事
 - 耐震化
 - 低水護岸整備
 - 浸透対策
 - 維持管理の現状
 - 河川利用 推進
 - 自然再生 整備

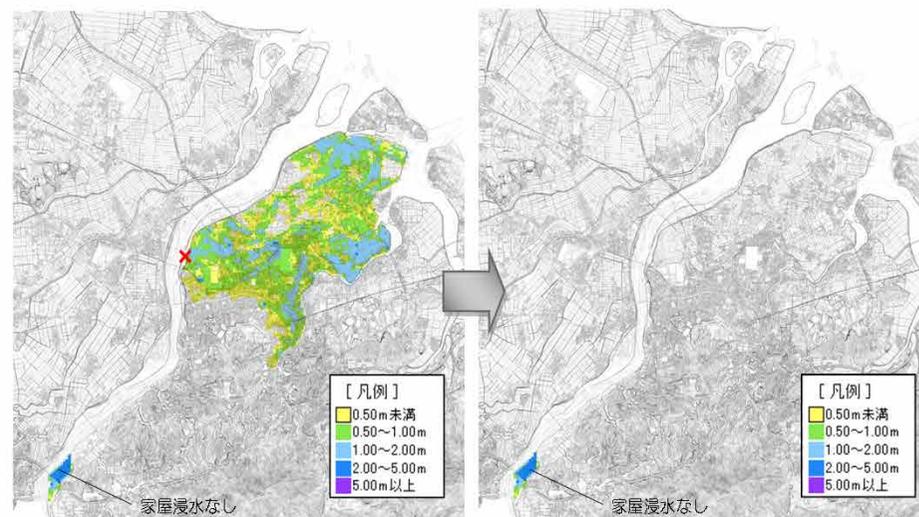
- 堤防整備効果により浸水が解消し、伊勢市の浸水も大きく軽減する。
- 浸水被害は大幅に減少し、家屋浸水被害は解消される。

左岸側



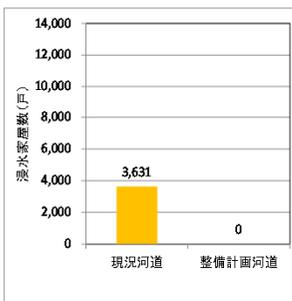
〔現況河道、左岸10.6k破堤〕 〔整備計画河道、破堤なし〕
 最大浸水深図（整備計画流量流下時、越水・破堤氾濫）

右岸側

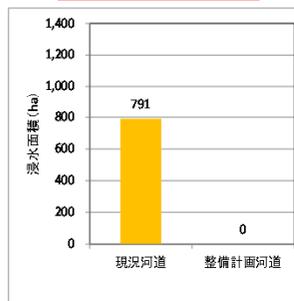


〔現況河道、右岸5.8k破堤〕 〔整備計画河道、破堤なし〕
 最大浸水深図（整備計画流量流下時、越水・破堤氾濫）

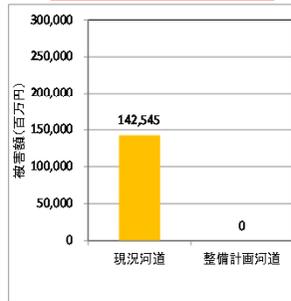
浸水家屋数（戸）



浸水面積（ha）

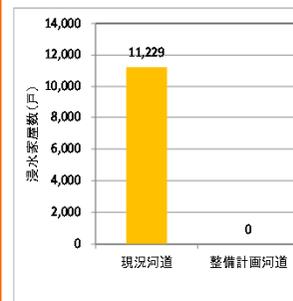


被害額（百万円）

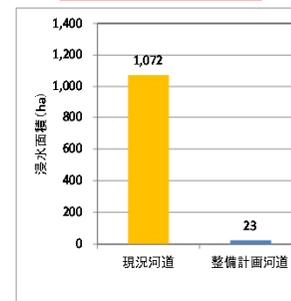


浸水被害軽減効果（現況河道⇒整備計画河道、整備計画流量流下時）

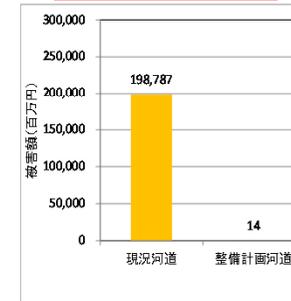
浸水家屋数（戸）



浸水面積（ha）



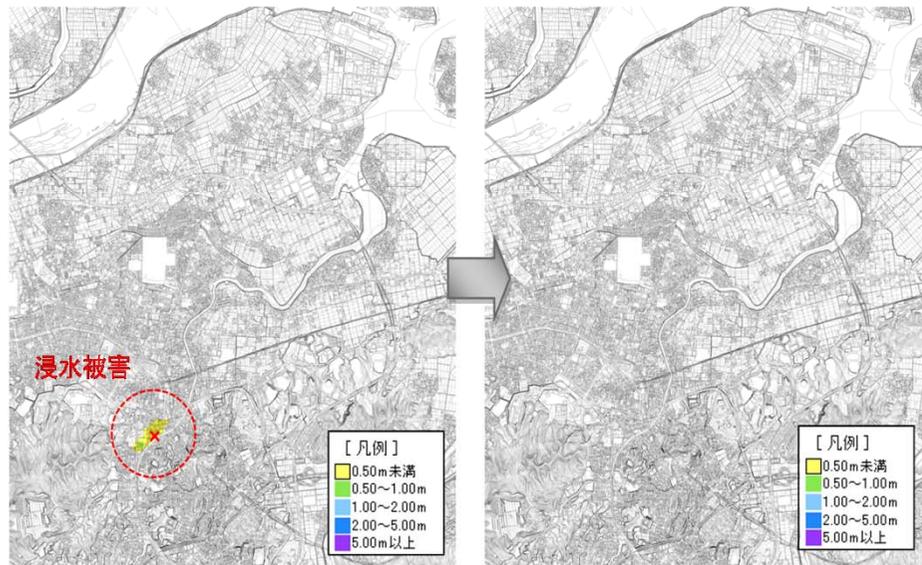
被害額（百万円）



浸水被害軽減効果（現況河道⇒整備計画河道、整備計画流量流下時）

○河道掘削効果により浸水が解消し、**家屋浸水被害は解消される。**

左岸側

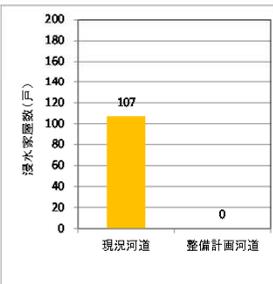


〔現況河道、左岸5.6k破堤〕

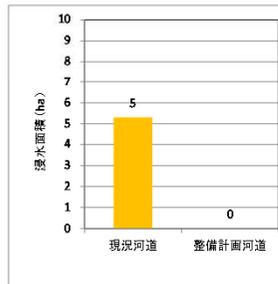
〔整備計画河道、破堤なし〕

最大浸水深図（整備計画流量流下時、越水・破堤氾濫）

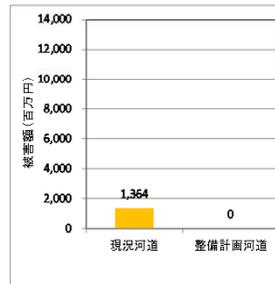
浸水家屋数（戸）



浸水面積（ha）

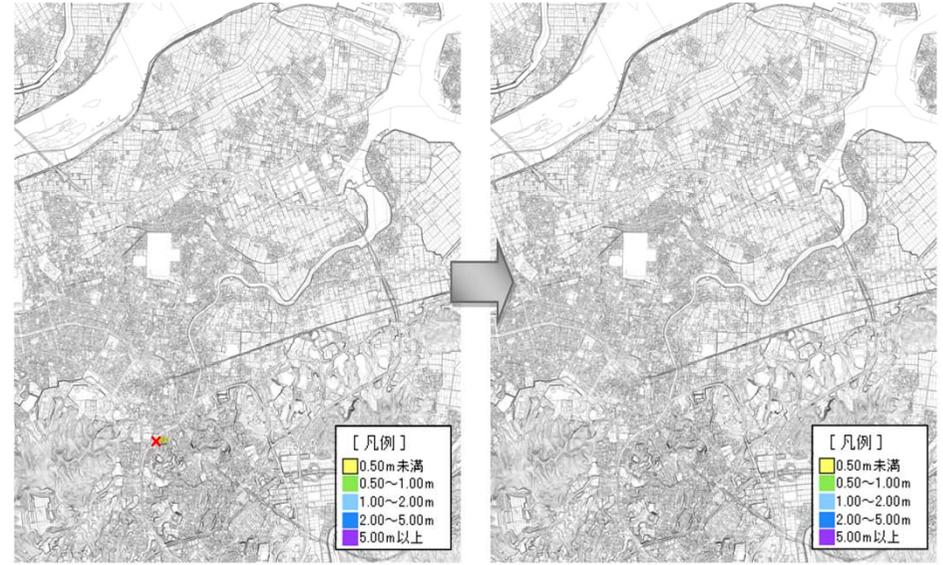


被害額（百万円）



浸水被害軽減効果（現況河道→整備計画河道、整備計画流量流下時）

右岸側

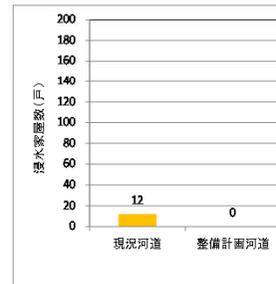


〔現況河道、右岸5.6k破堤〕

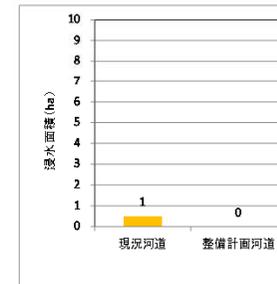
〔整備計画河道、破堤なし〕

最大浸水深図（整備計画流量流下時、越水・破堤氾濫）

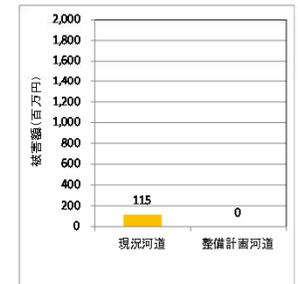
浸水家屋数（戸）



浸水面積（ha）



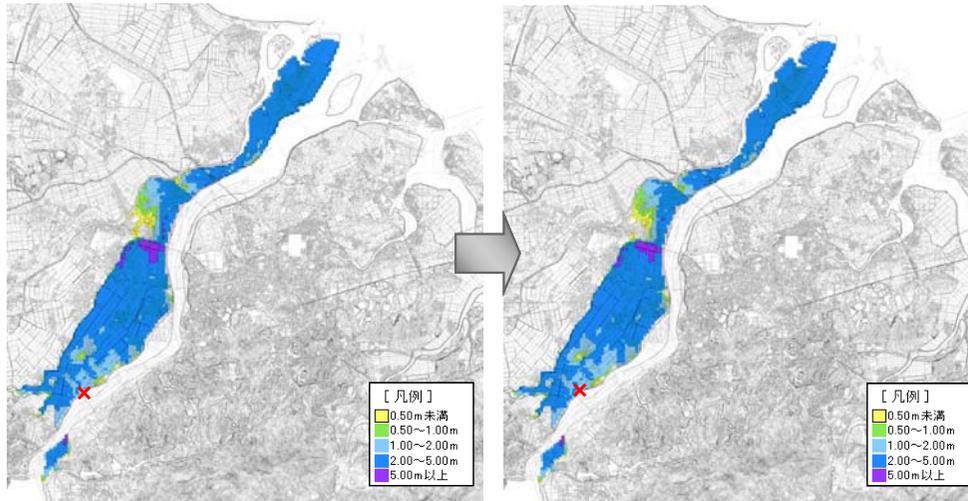
被害額（百万円）



浸水被害軽減効果（現況河道→整備計画河道、整備計画流量流下時）

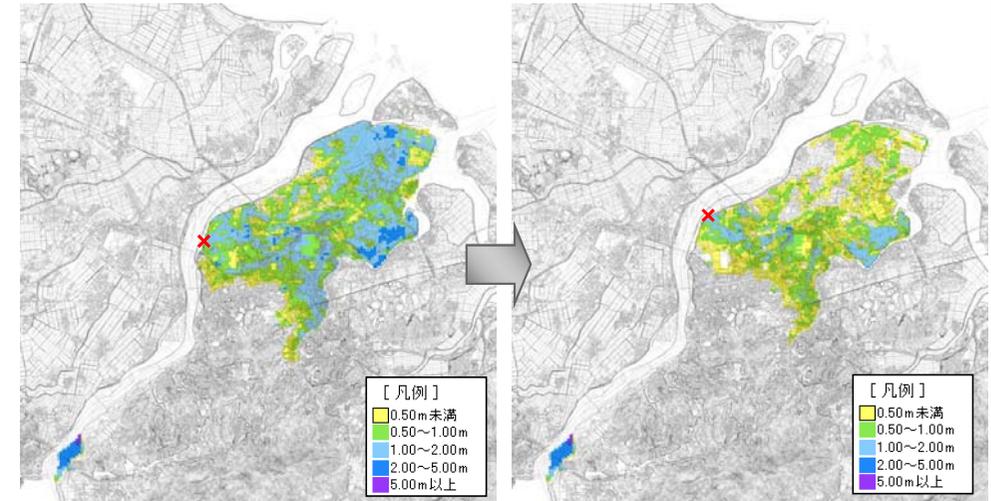
○整備計画河道において、基本高水流量規模の洪水が流下した場合、**浸水被害は軽減される。**

左岸側



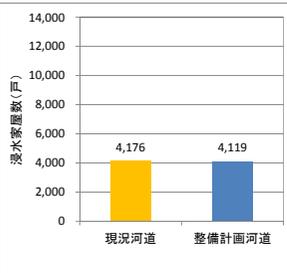
〔現況河道、左岸10.6k破堤〕 〔整備計画河道、左岸10.6k破堤〕
最大浸水深図（W=1/200流下時、越水・破堤氾濫）

右岸側

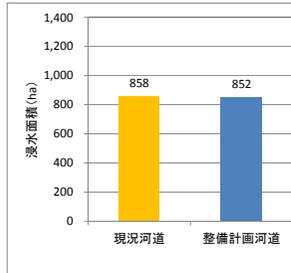


〔現況河道、右岸5.8k破堤〕 〔整備計画河道、右岸5.2k破堤〕
最大浸水深図（W=1/200流下時、越水・破堤氾濫）

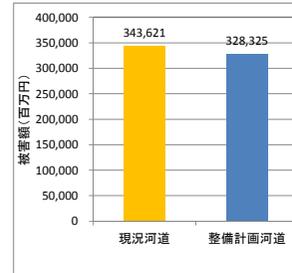
浸水家屋数（戸）



浸水面積（ha）

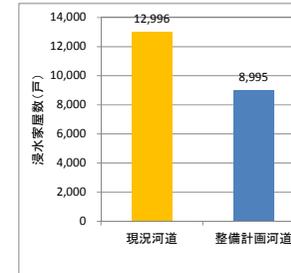


被害額（百万円）

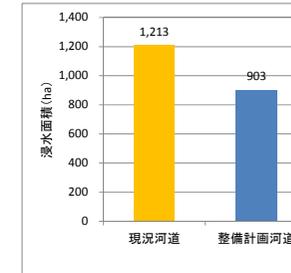


浸水被害軽減効果（現況河道⇒整備計画河道、W=1/200流下時）

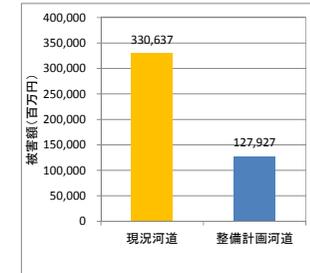
浸水家屋数（戸）



浸水面積（ha）



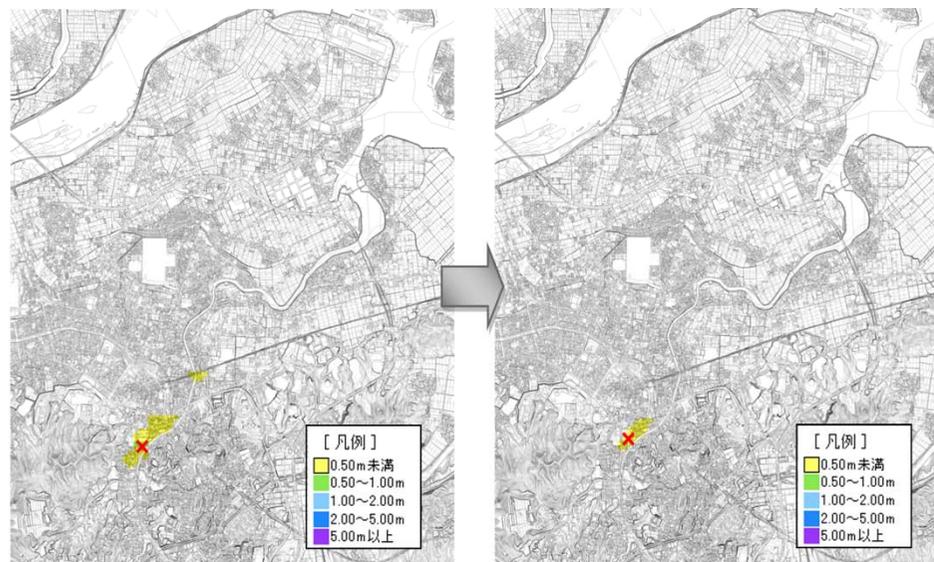
被害額（百万円）



浸水被害軽減効果（現況河道⇒整備計画河道、W=1/200流下時）

○河整備計画河道において、基本方針規模の洪水が流下した場合、**浸水被害は大幅に減少する。**

左岸側

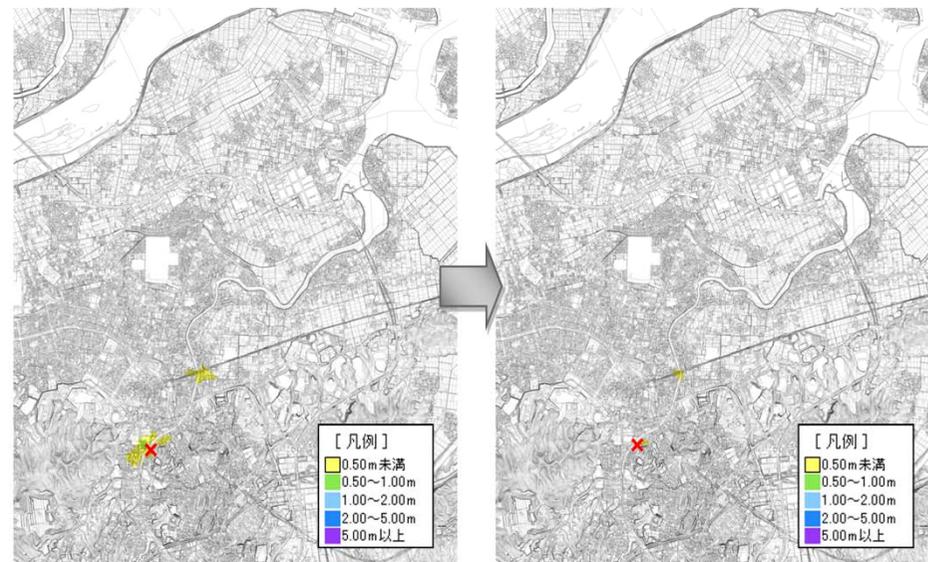


〔現況河道、左岸5.6k破堤〕

〔整備計画河道、左岸5.6k破堤〕

最大浸水深図（W=1/50流下時、越水・破堤氾濫）

右岸側

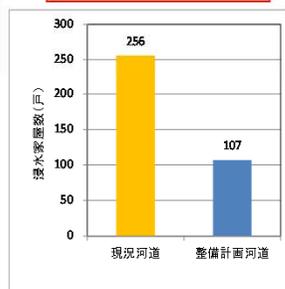


〔現況河道、右岸5.6k破堤〕

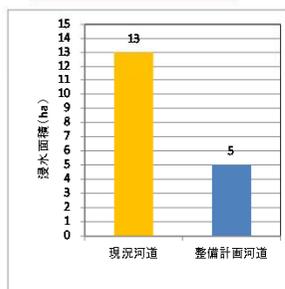
〔整備計画河道、右岸5.6k破堤〕

最大浸水深図（W=1/50流下時、越水・破堤氾濫）

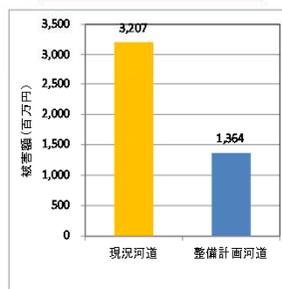
浸水家屋数（戸）



浸水面積（ha）

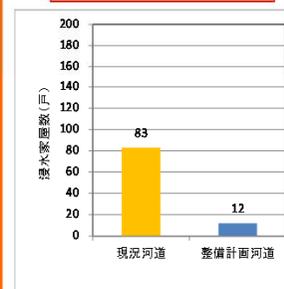


被害額（百万円）

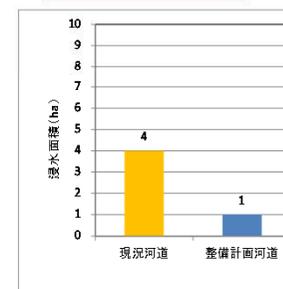


浸水被害軽減効果（現況河道⇒整備計画河道、W=1/50流下時）

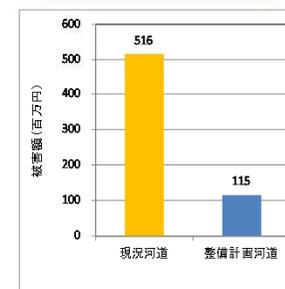
浸水家屋数（戸）



浸水面積（ha）



被害額（百万円）



浸水被害軽減効果（現況河道⇒整備計画河道、W=1/50流下時）